

# 自分ごとにする とは何か

2026/4/16

土木学会 事務局

中島 敬介

# 土木の分野での「**自分ごと**」

- アフターコロナ時代に向けた地域交通の共創に関する研究会 中間整理  
(R4;国土交通省総合政策局)

- 地域コミュニティの構成員が交通を**自分ごと**と捉え、交通サービスの価値を最大化する機運を醸成すること

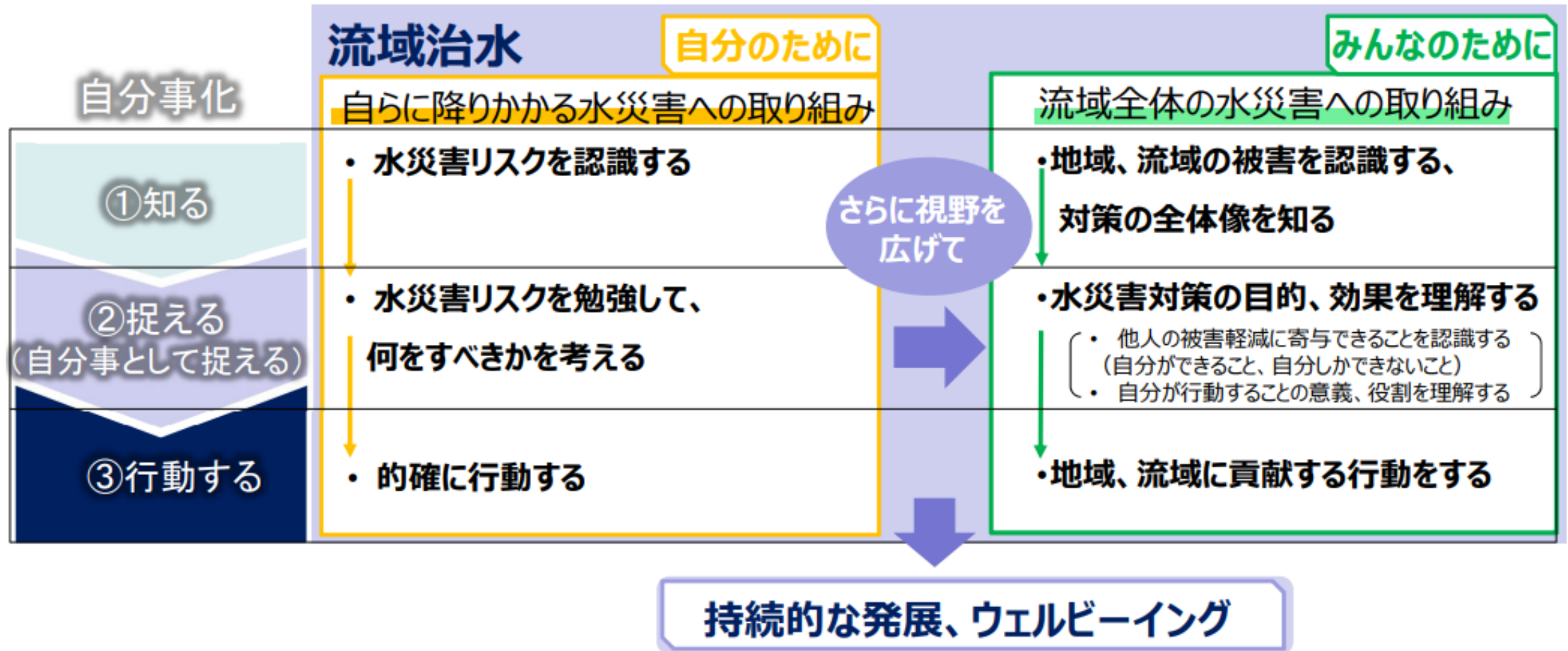
- 「水災害を**自分事**化し、流域治水に取り組む主体を増やす総力戦の流域治水をめざして」提言  
水害リスクを**自分事**化し、流域治水に取り組む主体を増やす流域治水の**自分事**化検討会  
(R5;国土交通省水管理・国土保全局)

- 住民や企業などが自らの水災害リスクを認識し、**自分事**として捉え、主体的に行動することに加え、さらに視野を広げて、流域全体の被害や水災害対策の全体像を認識し、自らの行動を深化させることで、流域治水の取り組みを推進する。

- 「信頼されるインフラのためのマネジメントの戦略的転換(第3次提言)」  
(R7;国土交通省 水管理・国土保全局)

- 劣化状況も含めたインフラの状況や、老朽化対策に要する費用等について、正確なデータを用いてマッピングを含めて『見える化』し、市民に対して分かりやすく公表・発信することで、市民がインフラの老朽化を「**自分ごと**化」するよう促していくべきである。

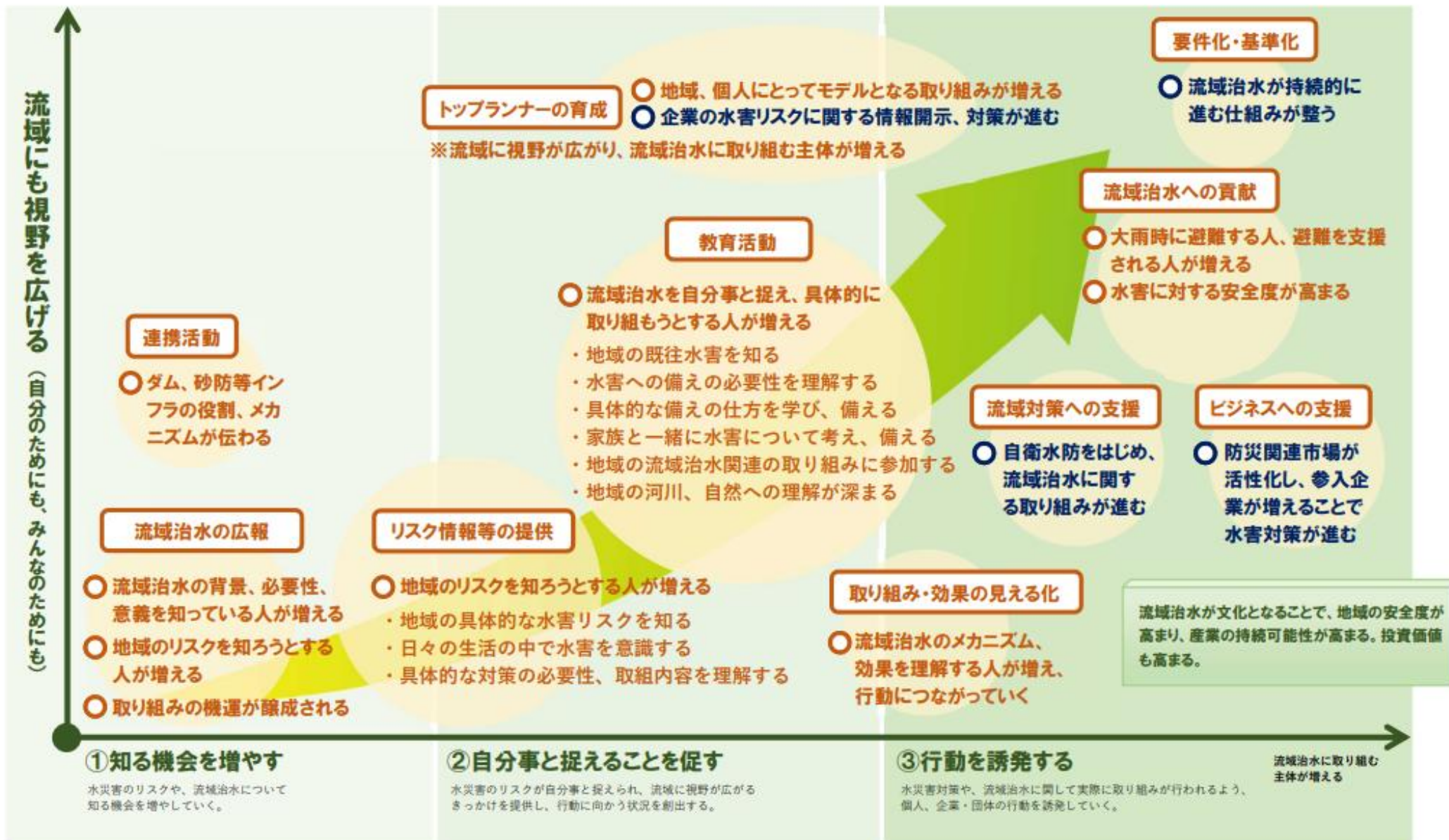
# 「水災害を自分事化し、流域治水に取り組む主体を増やす総力戦の流域治水をめざして」提言



## 5. 施策体系(目的、狙い)

○ 主に地域、個人に関するもの

○ 特に企業に特化したもの



「水災害を自分事化し、流域治水に取り組む主体を増やす総力戦の流域治水をめざして」提言(国土交通省水管理・国土保全局、2023.8)

[https://www.mlit.go.jp/river/shinngikai\\_blog/suigairisk2/](https://www.mlit.go.jp/river/shinngikai_blog/suigairisk2/)

「ジブンゴト」

という言葉は

辞書にない

「ヒトコト」

という言葉は

辞書にある

# ヒトゴト

自分に関係ないこと。  
他人に関すること。

人事



他人事

# タニンゴト

他人事を字づらどおりに  
読んだ語。誤用。  
(大辞林第四版)

自分に関係あること。  
自分に関すること。

自分事

# ジブンゴト



「他人ごと」は

「関心事」

関心のない状態

「無関心」

インフラについて

「無関心」でも

「無関係」では

いられない

「無関心」を

「自分ごと」に

# 「無関心」から「関心事」に

## 無関心

気にかけないこと。  
興味を示さないこと。

## 関心事

気にかけること。  
物事に興味をもったり、  
注意を払ったりすること。

当事者になったとき。

**自分ごと**

感情が揺さぶられたとき。

**共感・気づき・驚き・悲しみ…**

接触する機会が多くなったとき。

**よく見かける・よく耳にする → 気になる**

# 関心の状態に適したアプローチ

- ・伝える・届ける「**文脈**」
- ・情報の「**タッチポイント**」

関わる

共感

実感する

納得

理解

他人ごと

自分に関係ない事  
他人に関する事



自分ごと

自分に関係ある事  
自分に関する事

関係を知る

無関心

気にかけないこと  
興味を示さないこと



認識する

関心事

気にかけること  
物事に興味をもったり、注意を払ったりすること

# インフラ

心理的距離を近づける  
(見せる・気づかせる)



見えない  
見ていない  
分かっていない

知らない  
聞かない  
気づかない

**無関心**

気にかけないこと  
興味を示さないこと

自分と関係があると感じられる  
物語(ナラティブ)の提供



でも関係ない

知ってる  
聞いている  
見ている

**他人ごと**

自分に関係ない事  
他人に関する事

見つける  
・気づく



**認識する**

場・機会の提供



**関わる**

**実感する**

**自分ごと**

自分に関係ある事  
自分に関する事



**関係を知る**

**関心事**

気にかけること  
物事に興味をもったり、注意を払ったりすること

「無関心」を「関心事」に

「他人事」を「自分事」に

# インフラを「自分ごと」に

## 「気づく」ー認識する・してもらおう

- 見えているインフラ・見えないインフラ
- 近いインフラ・遠いインフラ

## 「見せる」

- 数値・グラフだけでなく、**現物・機能(役割)**を
- 「魅力発信」とは異なる文脈が必要

人は「**何をつくったか**」だけでなく、  
「**なぜそれをつくったのか**」  
「**どうつくったのか**」  
「**誰とつくったのか**」、  
そうした**ストーリー**の中にこそ、  
**信頼性**を感じとろうとしています



# インフラ

## 土木技術者の認識

関わる

実感する

他人ごと

自分に関係ない事  
他人に関する事



関係を知る

自分ごと

自分に関係ある事  
自分に関する事

無関心

気にかけないこと  
興味を示さないこと



認識する

関心事

気にかけること  
物事に興味をもったり、注意を払ったりすること

# インフラを「自分ごと」に

## 土木技術者は「より知ること」が必要

- 分野横断－土木の「ウチ」も、土木の「ソト」も

「ウチ」から「ソト」へ、ではなく  
「ソトガワ」に出て「ウチガワ」を見、  
「ソトガワ」で周囲に寄り添って語る

書き手が「**なんとなく**」としかわかっていないことは、言葉をつくしても「**なんとなく**」としか伝わりません。

自分が「**はっきりわかっていること**」だから、「**はっきり伝える**」ことができます。

土木を中心に  
八方に広がりに  
あらゆる境界を開く

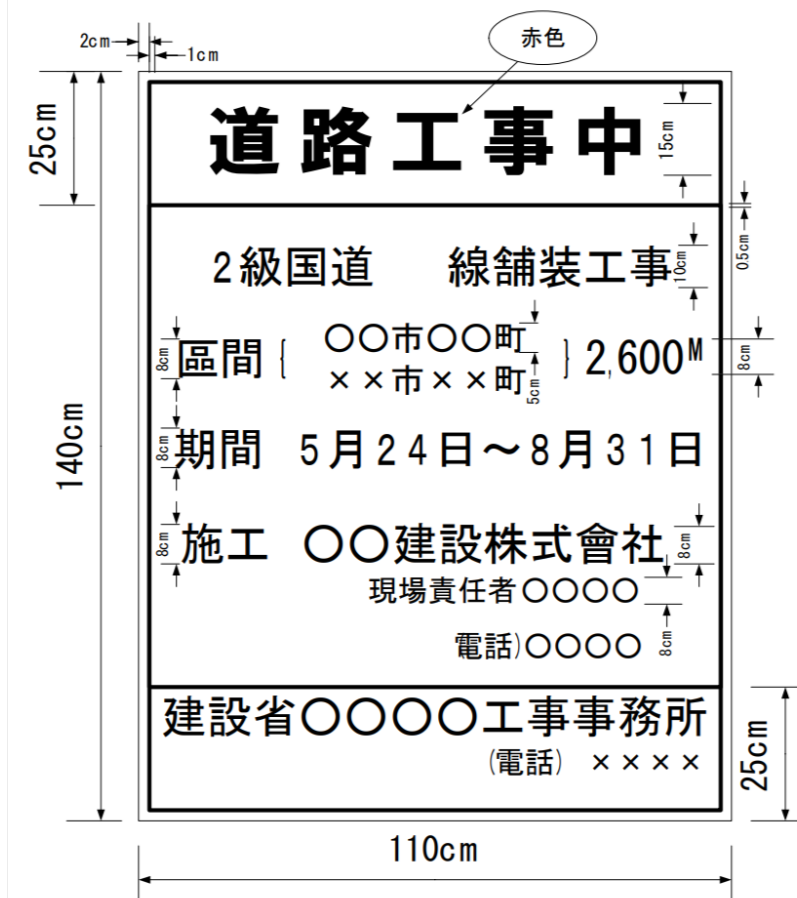
顔を上げ  
周りを見渡し  
領域の外へ

# 工事中看板

昭和37(1962)年通達



道路工事を行う場合は、必要な道路標識を設置するほか工事区間の起終点に別表様式1に示す標示板を設置するものとする



# 工事中看板

昭和37(1962)年通達



平成15(2003)年

ユーザーの視点に立った道路工事マネジメントの改善について  
～外部評価に基づく工事とその影響の縮減～提言

「ユーザーの視点に立った道路工事マネジメントの改善委員会」  
(委員長 家田仁 東京大学教授)

<https://www.mlit.go.jp/road/sisaku/rojokoji/dorokoji/proposal/>

③さらに、工事実施主体名、工事理由、工事の終了時期等が一目でわかるように工事看板および保安設置基準等を見直すことにより、道路工事が何故行われているのか、いつ終わるのかを利用者に分かりやすく周知し、道路工事に対する理解を促進することが必要である。

# 工事中看板

昭和37(1962)年通達



平成18(2006)年通達



# 中部地整「一目でわかる伝わる工事メッセージ大賞」

[https://www.cbr.mlit.go.jp/architecture/message\\_taisho/](https://www.cbr.mlit.go.jp/architecture/message_taisho/)

更に企業側と官公庁（発注）側との協力・協調により社会からの共感の拡大を図っていこうとする中で、今般、共に改善の必要性を認識したのが、多くの皆様におそらく無意識のうちに目に入っている工事現場における看板メッセージである。

メッセージについては、通達類により「工事の主体・目的・内容を一目でわかるようにすること」とされているが、中には、工事の目的、すなわち工事によってどのような価値を皆様に提供しようとしているのかが伝わらないものや専門用語を用いているがために工事の内容が伝わらないものも存在する。

伝えよう、解っていただくという意志・意欲が見られないメッセージが目につく環境は、共感を得にくく上でマイナスであることから、工事看板のメッセージもまた社会の皆様との大切なコミュニケーションの機会ととらえ、理解・共感を頂こうという姿勢が伝わるものにしていく必要がある。

# 参考リンク・書籍

- 国土交通省
  - アフターコロナ時代に向けた地域交通の共創に関する研究
    - [https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/transport/sosei\\_transport\\_tk\\_000171.html](https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/transport/sosei_transport_tk_000171.html)
  - 水害リスクを自分事化し、流域治水に取り組む主体を増やす流域治水の自分事化検討会
    - [https://www.mlit.go.jp/river/shinngikai\\_blog/suigairisk2/](https://www.mlit.go.jp/river/shinngikai_blog/suigairisk2/)
  - 「信頼されるインフラのためのマネジメントの戦略的転換(第3次提言)」
    - [https://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewerage/mizukokudo\\_sewerage\\_tk\\_000987.html](https://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewerage/mizukokudo_sewerage_tk_000987.html)
- NHK 放送文化研究所
  - 放送現場の疑問・視聴者の疑問「ひとごと(人事)」と「たにんごと(他人事)」
    - <https://www.nhk.or.jp/bunken/summary/kotoba/gimon/152.html>
  - 放送研究と調査 2022年1月号  
”この報告は、多くの方々が読んでいただきたいです“ ~2021年「日本語のゆれに関する調査」から(1)~
    - <https://www.nhk.or.jp/bunken/d/research/kotoba/BUNA0000010720010004/>
- 書籍
  - 「伝え方」(松永光弘, クロスメディアパブリッシング, 2023年)
    - <https://book.cm-marketing.jp/books/9784295408369/>
  - 「コンテンツ化」(高瀬敦也, クロスメディアパブリッシング, 2025年)
    - <https://book.cm-marketing.jp/books/9784295411611/>